

お雛飾り

立春も過ぎ、待ち遠しい春がもうすぐやって来ます。私たちだけじゃなく、木の芽も、冬眠中の虫たちも、春が来るのをワクワクと待っていますよね。今月は、3月3日のひな祭りのお飾りを作ってみましょう。春っぽく、カラフルに華やかに作りましょう！今回はちょっと手が込んでいますよ。時間をかけながら楽しく作ってくださいね。



<準備するもの>

- 紙皿（直径 20 cm ぐらいのもの）
- 折り紙（15 cm×15 cmのもの。無地・花柄）
- キッチンペーパー
- ひも（20 cm程度）
- 水性ペン
- のり・はさみ・霧吹き・穴あけパンチ



100円均一のお店に行くと、色んな紙皿がありました。これだけでも、ウキウキしますね。ここでは、左の白いものを使用しましたが、お好みのものを使ってくださいね。



今回は、折り紙をたくさん使ってカラフルにしましょう。

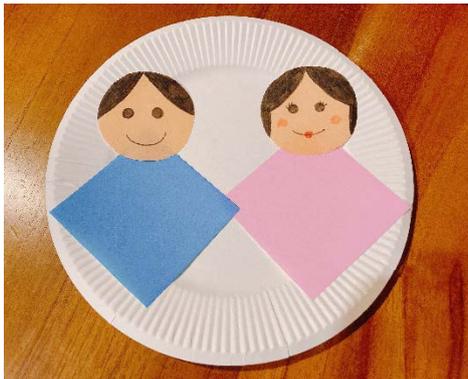
①男雛(おびな)用、②女雛(めびな)用
水色と桃色の折り紙は土台になります。
それぞれ上の3枚は着物用です。

お子さまの好きな色と柄を使ってくださいね。

③の3枚は顔と飾り用(小物)です。うすだいだいは顔に使います。黒と金はほんの少ししか使いませんので、折り紙でなくても大丈夫です。



① それでは、準備が出来たら作り始めましょう。
まず、うすだいたい色の折り紙を中表にして四つ折りにします。コップなどで円を描き、切ります。だいたい直径5~7cmぐらいです。



② 女雛と男雛の土台になる桃色と水色の折り紙も四つ折りにして1/4の正方形に切ります。それぞれ1枚ずつ使います。

③ 丸く切った折り紙には、顔を描きましょう。
紙皿に写真のように貼り付けます。
お雛さまは、一般的に向かって左側が男雛、右側が女雛です。(関東雛)



④ ここからは、男雛・女雛ともに共通です。同様にお作りください。着物用の3枚の折り紙を重ねて三つ折りにします。多少ずれても構いません。三つ折り線で切ります。使うのは1/3に切ったもの2組ずつです。

④~⑥まで、男雛の分も作ってくださいね。



⑤ 3枚重ねて長い辺の方を5mmずつぐらいずらして糊付けします。



⑥ 柄を外側にして半分に折り、のり付けします。
赤い矢印の部分(下側)を5mm程度出して貼り付けます。緑の矢印の部分は着物の「たもと」部分になりますので、折り目を付けずに丸くしておいたほうがかわいいですよ。



⑦次は、お皿の下部分を飾るお花を作りましょう。
 「にじみ絵」にチャレンジしてみましょう。
 新聞紙の上に、キッチンペーパーを1枚置きます。半分にカットしておきましょう。
 水性ペンでキッチンペーパーに模様を入れます。(かわいい絵を描いてもにじんでわからなくなってしまうので注意してください。)



⑧描きあがったら霧吹きでまんべんなく濡らします。しばらく乾かすと、こんな感じになります。



⑨あとは貼り付けていくだけです。

まず、男雛の着物を貼ります。襟元が着物っぽくなるようにレイアウトしましょう。女雛側の袖は女雛の着物と重なりますので、折り目を付けて潰してしまいましょう。男雛を貼り付けたら、女雛の着物を貼り付けます。



⑩小物を切り貼り付けます。



キッチンペーパーのにじみ絵は、くしゃっと軽く丸めて貼り付けます。

余った折り紙で飾り付けすると、よりかわいいですよ。(見本はお花を切り、貼りました)

お皿の上部にパンチで穴を開け、紐を通します。



完成です！

にじみ絵を着物に使っても素敵ですね。
 色々とアレンジをお楽しみください。

<おまけ>

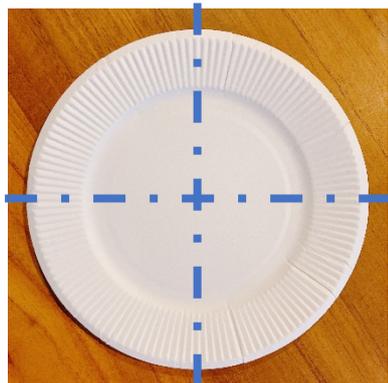
紙皿、余っていませんか？

余った紙皿とペットボトルのキャップで即席コマ
を作って遊ぼう！

紙皿コマを回そう！



即席なのに、びゅんびゅん回ります！



- ①表を中にして半分に折り目をつけます。
90° 回転させてもう 1 か所折り目をつけます。

<準備するもの>

- 紙皿 1 枚 (丸皿・サイズ問わず)
- ペットボトルのキャップ 1 個
- お絵描きできるもの
(クレヨン、ペン、絵の具などなど)
- セロテープ



- ②中心の折り目の交差する位置にペットボトルのキャップをセロテープを輪にして貼り付けます。両面テープで貼っても OK です。
お絵描きするのも忘れずに！